教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2019/9・15
No. 1983
2面
・2019青年部サマーセミナー

19対県確定闘争勝利・教育フェスティバル成功へむけ 各地域組合・専門部の三役が集結!!

兵教組第2回地域組合三役合同会議

8月31日、ラッセホールで兵教組第2回地域組合三役合同会議が開催された。
冒頭、川原中央執行委員長は秋から年末にかけてのとりくみを討議するための素材として、フィンランド・OECD教育文化交流の報告と8月7日に出された人事院勧告をふまえた給与制度にふれ、あいさつを述べた。（要旨参照）
森戸書記長が経過と情勢の報告をおこなった後、秋季・年末闘争へむけた具体的なとりくみの方針が提案・決定された。

川原中央執行委員長 あいさつ（要旨）

フィンランドの教育制度

フィンランドでは、年齢、性別、居住地、経済状況、母国語などに関わらず、すべての国民に教育を受ける平等な機会を提供することを基盤においている。そのため、就学前教育、基礎教育（義務教育）、高等教育まで原則無償とされている。学費、福祉サービス、必要な教材や教科書、給食などは、これら教育期間において無償で提供される。また、基礎教育期間の通学費に関しても各自治体が負担している。

OECDのPISA調査結果の分析によると、フィンランドは、子ども間、学校間、家庭環境の違いによる学力の格差が、他の国と比較して断然小さくなっている。これは、「教育の機会」と「学習の結果」のどちらもが「平等」になるような教育をつくりあげてきたからである。

また、学校では、子どもをその成績や障害によって選別することは好ましくないと考えられており、16歳までは、他人と比較するためのテストはなく、長期的な能力別指導や順位づけも否定されている。一方で、学力低位の子どもへの支援は徹底されており、修得主義となっている。就学前教育の段階で、子どもの状況に応じて、保護者や就学前教育の教員と話し合った上で、小学校の入学を1年遅らせることができ、また、中学校を卒業しても、まだ十分な学力を身につけていないと判断された場合は、「10年生」という特別プログラムで、もう1年学習することができる。

国は、教育の目標を大綱的に示すだけで、教育方法や使用する教科書は、教職員に委ねられ、教職員数も学校予算の範囲内で各校長に任されている。

授業形態は、グループ学習、少人数学習、個別指導が多く、子どもの自主性や協調性が重視されている。その中で、将来に役立つ能力を総合的に育むことや、助け合いの人間関係づくりを養うことなどが大切にされている。教員はサポート役で、学びの中心はあくまで子どもたちである。

日本の教育制度

日本の義務教育は、授業料と教科書は無料である。高校教育は、安倍政権になり、所得制限が導入された。給食費や教材費は、基本的に有料である。厚労省によると、15年の子どもの相対的貧困率は13．9％となっており、7人に1人が貧困状態にある。給食費が払えない、修学旅行の積立ができないなど、充実した学校生活を送ることができず、将来に希望が持てずにいる子どもたちが増加している。

また、OECDの調査によると、日本の教育費の公的支出の割合は、OECD加盟国と比べて、下から2番目である。教育費の私費負担率は非常に高いものとなっており、教育格差は深刻である。

今後の課題

06年の教育基本法改正以降、トップダウンによる様々な法・制度改正がすすめられ、全国学力・学習状況調査の実施、調査結果の公表、教員免許更新制の導入、道徳の教科化、小学校英語の導入、そして、学習指導要領の改訂や長期休業の短縮などの動きもあり、教育現場の現状を顧みない政策が続いている。成果主義、競争主義の考え方は、フィンランドの教育理念とは、まったく正反対の考え方である。フィンランドの教室で見られたグループ学習、教え合い、学びあいの学習形態とはかけ離れた実態にあるのが、日本の現実である。

また、今回訪問したOECDも提言している国際的な教育改革の潮流は、市場原理、成果主義、競争主義の手法を用いたエリート教育ではなく、教育予算の拡充と、子どもたちに寄り添い、興味・関心、得意分野を伸ばすことや、学習面でしんどい子どもへの支援を大切に、学んだことを応用し、生かしていくスキル、人間関係の調整力、社会に貢献できる市民の育成にとりくむことである。日本が世界トップレベルの学力をめざすというのであれば、小手先の改革ではなく、時間とお金をかけて教職員の長時間労働を是正し、心身ともに健康で子どもと向き合う時間を確保し、子どもに寄り添った教育ができるよう教職員定数の大幅な改善など、教育予算の拡充を早期に実行することこそが先決である。

これまでのフィンランドとの相互訪問を通じて、教育制度や教職員の労働環境、「well-being」の考え方などについて意見交換と学校訪問を行ってきた。今後、OECDのエデュケーション2030が示す予測困難な時代を迎えるにあたり、学んだことを、兵庫の教育政策や教育研究に生かしていく。

ひょうご2019こどもの詩と絵 第40集

作品募集開始！

本年度も、これまでのとりくみを継続・発展させるものとして、次の要領で作品を募集します。
豊かな感性によって表現された作品が多数応募されるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

募集期間
【詩】 9月2日（月）～11月15日（金）
【絵】 9月2日（月）～11月29日（金）

※詳しい応募要領は各地域組合にお問合せください。
（必ず各地域組合を通して応募してください。）

兵庫県教育会館 ラッセホール 70th Anniversary
永年のご愛顧に感謝を込めて
兵庫県教育会館 ラッセホール 70周年記念フェア

Fleur Lasse Hall Infomation
フルール 2019年10月号
「兵庫県教育会館」は、1949年に創業し、70年を迎える事ができました。永年に渡り、ご利用のお客様に感謝の気持ちを込めて「70周年記念フェア」を開催いたします。

第三弾
秋のバンケットプラン

2019年10/1(火) ▸▸ 2019年11/30(土)
2時間制 20名様～
親睦会、交流会、同窓会、各種ご宴会など、様々なシーンに

お料理＋フリードリンク
ブッフェ形式にすると、料理が一品（おまかせ）追加でさらにお得に!
特典 日曜日・祝日のご利用…フリードリンク1アイテム追加、または一文字看板サービス

Aコース 和・洋 料理 お一人様（税金・サービス料込）5,000円
◆サーモンとアボカドのマリネ
◆オードブルバリエ
◆蓮根とベーコンの秋サラダ
◆たっぷりトウモロコシのフライ
◆秋刀魚と鰯のピリ辛ソース
◆鶏モモ肉のブランケット仕立て
◆季節の炊き込みご飯
◆椀子そば
◆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

Bコース 和・洋 料理 お一人様（税金・サービス料込）6,500円
◆オードブルバリエ
◆お造り二種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆秋刀魚けんちん焼
◆秋鮭の一口フライ
◆牛ほほ肉の赤ワイン煮込み
◆握り寿司 太巻寿司
◆椀子そば
◆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

Cコース 和・洋 料理 お一人様（税金・サービス料込）8,000円
◆焼茄子と無花果のマリネ
◆お造り三種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆鶏モモ肉と栗の柚子胡椒炒め
◆サーモンポワレ　茸クリーム
◆豚肉とサツマイモの味噌焼
◆握り寿司彩々
◆椀子そば
◆フルーツ&プチケーキ（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
＜ライブ＞◆牛ロース鉄板焼き

＋ プラス
フリードリンク
●瓶ビール ●ウイスキー ●ハイボール ●芋/麦焼酎 ●赤白ワイン ●日本酒又はカクテル ●ウーロン茶 ●オレンジジュース

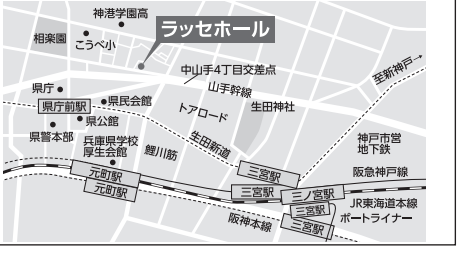
フリードリンクは、1アイテムにつき300円で追加できます。
追加アイテム…
酎ハイ、梅酒、カクテル、ノンアルコールビールなど

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、基本音響、照明（マイク2本付）、会場費（2時間）の料金が含まれます。
※ご延長の際は会場費とフリードリンク代金として30分ごとに一人あたり500円（税金、サービス料込）の追加料金をいただきます。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com
●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より1.1km

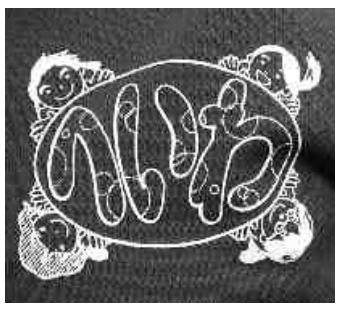


青年部サマーセミナー

つながろう青年部！ひろげよう みんなのwa～話・輪・和～

8月3日から2日間、県立南但馬自然学校において「Hey Enjoy！ギュギュっと一致団結 みんなで わっしょい（話・輪・話）！！」をテーマに青年部サマーセミナーが開催された。

県内各地域組合から参加した青年部員約280人は、「なぜ組合活動が必要なのか」等を考えるパネルディスカッションやグループ討議、兵教組が提唱する体験活動に重点を置いた自然体験、社会体験、福祉体験等の学習・交流活動をおこない、同じ思いを持った仲間とのつながりを深めた。その中で、参加者の声を掲載する。



参加者の声

西宮・高須西小分会　田渕　裕幸

朝から太陽の日差しが照りつける中、駐車場にやってきたみなさんの様子はさまざまであった。にこにこしている人、はつらつとあいさつをする人、どこか不安げな表情の人、後ろ姿が重そうな人、遅れてでもきちんとやってくる人…。まだ終わってもいないのに、自然と「お疲れ様です」という言葉が出ていた。この時の私にとって、サマーセミナーに対する期待感はそれほど高いものではなかったと思う。

私は今回、実行委員の情宣係として活動を見て回り、通信を発行するという仕事を担った。1泊2日への変更に伴い、実行委員会も短期間でまとめ上げていこうとする連帯感が感じられた。サマーセミナーを計画した実行委員会のメンバーは本当にすばらしかった。

サマーセミナーがはじまってからは、全員の表情が徐々に柔らかくなっていった。職場の悩みを共有し合う真剣な表情、夜の祭典にむけて短時間で練習している姿を見つめ、手拍子する温かい様子。率直に「先生ってすてきな人たちなんだな」と思えた。

2日目はグループ毎に分かれての活動だった。工作、料理、奉仕活動、登山、絵の創作活動、子どもたちとのふれあい。本部に写真が送られてくる度に、活動の良さが伝わってきた。写真から伝わる協調性や達成感、完成までの努力、そして何より表情。駐車場で見た顔とは違ういきいきとした表情だった。

詳しくはインスタグラムの「samasemi2019」で検索。全日程終了後の自然と口にしていた「お疲れ様でした」はとても清々しかった。来年度、是非参加してください。

◆

姫路・神南中分会　深江　理紗

私はこれまで、サマーセミナーに参加したことがありませんでした。なのに、引き受けてしまった実行委員…。私に実行委員が務まるのか心配で、実行委員会を重ねても、サマーセミナーの全体像や雰囲気、リーダーとしての動きが把握できずにいました。いつ、どこで、何をするのか、何を班員に伝えるのか…。何度確認しても不安で仕方ありませんでした。

そんな不安を取り除いてくれたのは、5班（マウンテン・クライミング）のメンバーでした。1日目最初の班別オリエンテーションで自己紹介やアイスブレイクをしました。しかし、緊張してしまい上手く話せず、段取りが悪くなってしまいました。それでも、私の話を笑顔でしっかり聞き、私の指示以上のことをしてくれました。また、2日目の竹田城跡への登山の道中では、多くのメンバーが「何か荷物持つよ」「下見に行ってくれてありがとう」などと声をかけてくれました。実行委員として至らないところもありましたが、そっと手伝ってくれた5班のメンバーに感謝しています。

私にとっての今回のサマーセミナーは、テーマである「Hey Enjoy！ ギュギュっと 一致団結 みんなで わっしょい（話・輪・和）！！」のように、県内各地で頑張る青年部とひとつになって盛り上がり、日頃の悩みや疲れを吹き飛ばすことができた2日間になりました。まだサマーセミナーに参加したことがない人にも、ぜひ参加してほしいなと思います。

▶マウンテンクライミング

▶講座ー パネルディスカッションの様子

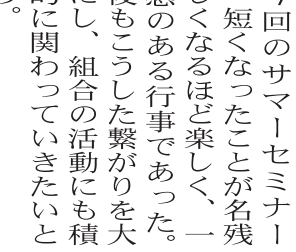
朝来・梁瀬小分会　小谷　ゆめ実

私は2回目の参加だった。1回目の参加は一般参加、そして今回は実行委員としての参加で、セミナー係を担当した。活動内容としては、講座の企画・運営に携わることが主であった。

今年から1泊2日で例年よりも1日短くなったため、タイトなスケジュールに不安が大きかったが、実行委員会の打ち合わせで、係で話を進めていくうちに、そうした不安はなくなった。それは係のメンバーが一丸となって、より良い講座を作ろうという熱意があってこそだと思う。

そうして迎えたサマーセミナー当日もスローガンにあるように、「ギュギュっと」密度の濃いものとなった。講座Ⅰでは組合の先輩方をお招きし、組合活動の意義やこれからについて考える良い機会となった。また、講座Ⅱや講座Ⅳについても、どの班も創意工夫を生かし、団結することでひとつものを作り上げる感動を味わうことができた。

今回のサマーセミナーは、短くなったことが名残惜しくなるほど楽しく、一体感のある行事であった。今後もこうした繋がりを大切にし、組合の活動にも積極的に関わっていきたいと思う。



▲絵に平和の願いをこめて

▲体験！みんなとともに・・・

宝塚・山手台小分会　横田　香恵

2回目のサマーセミナーでしたが、あっという間の2日間でした。前回は実行委員として参加したので、一般参加は初めてで緊張していました。しかし、会場についてすぐに、前回のサマセミでつながったたくさんの方たちとお会いし、すぐに安心しました。「サマセミでのつながりってすごいな」と改めて感じた瞬間でした。今回のサマセミのテーマは、本当にぴったりでした。2日間という短い期間ではありましたが、多くの学びがあり、それと同時に新たな友だちも増え、さらには飲んで食べながら楽しめる！テーマに込められたことこそがサマセミの醍醐味だと感じました。

私は、アウトドアクッキングのグループで活動しました。手作りのオーブンでピザとローストビーフを作ると聞いて驚きましたが、初めての体験で本当に新鮮でした。同じ班の4人のメンバーとは、お互いの趣味のことを話したり、学校のことについて話したりと、短い時間でぐっと仲良くなりました。学校の話などをしていると、県内のあちらこちらで同じ気持ちで頑張っている人がいるんだなと実感しました。地域組合が遠い方ばかりだったので、またお会いすることは難しいかもしれませんが、心強い味方ができた気がしました。

サマセミは本当に人とのつながりが広がっていく場だと思います。まだ参加したことがない方はぜひ早いうちに行ってほしいです。私は今後も出会った方たちとのつながりを大事にしたいなと思います。サマセミありがとう！！

▶アウトドアクッキング

▶ネイチャースクール

▶フロンティア

赤相・高雄小分会　坂本　哲也

私は2回目のサマーセミナーへの参加でしたが、様々な活動を通して、大変充実した時間を過ごし、青年部のwaを広げることができました。

「話」楽しい話題はもちろん、仕事への思いを語りあい、刺激をもらいました。その中で、地域や世代、職種によって考え方や悩みは違うものの、仕事に誇りを持ち、目の前の子どもたちを幸せにしたいという教職員としての根っこの部分を共有できたと思います。

「輪」普段の勤務ではなかなか出会えない多くのとの出会いがありました。初めは硬さがあったように思いますが、出会って数時間後にはスタンツ。どうなるのかと不安もありましたが、どの班も息のあった素晴らしいスタンツを披露し、夜の祭典に魅了されました。

「和」二日目の班別講座では、暑い中、野外で活動した班、ひとつのテーマにむかって絵や作品づくりにとりくんだ班など様々でしたが、互いに声をかけあいながら、協力・協働することの大切さをあらためて実感しました。

今回できたつながりを大切に、これからの教職員生活に生かしていきたいと思います。そして今後、一人でも多くの青年部の方にサマーセミナーの魅力を感じてほしいと願っています。

サマーセミナーは「聞く」よりも「行く」ものです！来年も青年部みんなで参加して、レッツS・K・K！